ると考えるが、

ŧ

みづくりが必要になる。



議員 (風)

採用してもすぐに辞めてしまい安 いずれも希望者が集まらないうえ、酪農家はもとより酪農へルパー等、 な人手不足に直面している。 酪農生産現場が深刻 答 問 新規就農希望者と労働 協

り、

新 じ

規

育 係

努め

7

(J に 連

設の設置

「就農なられた。」で機械の

施の 設購

等入

をは

め

業 者

関

機 成

関と

緊密

携

(3)町として新規就農者に、どのよ どのような方法があるのか。 (2)町内で新規就農するためには、 があり、その後どうなっているのか。(1)新規就農希望者はどの位の応募 報提供による人材確保等により、 者を組み合わせる体制づくり、 農を考える酪農家と新規就農希望 求めることが酪農の発展に不可欠 うな指導をしているのか。 新規参入者を少しでも増やす仕組 を含め外国人研修生等に労働力を 大に支障を来しているのが現状で 何らかの対策を講じる必要があ 課題として人手不足の解消と離 以下伺う。 新規就農希望者 町として 就農を果たした方は、幕別地域は49人であり、これまで実際に新規域は41人、忠類地域は8人の合計 ては、 (2)新規参入に必要な農地を確保す 合計11組16人である。そのうち、 7組8人、忠類地域は4組8人の アコース入校生等を含め、 3組が農業経営の継続を断念した。 売額が確保できないなどの理由で 病気による死亡や計画どおりの販 長 -トした平成7年度以降においまくべつ農村アカデミーがス 同アカデミーのフロンティ 定期間貸し付けた後、 $\overline{(1)}$ |公社営農場リー 新規参入希望者の 「農地保有合理化事業」 おいては、 離農農家等

を札内地区にも必要ではないか。(5)本町にある単身者用の公営住宅社員、外国人研修生の人数と業種は。(4)町内の農業に従事するパート、 用できるようにならないか。 (6)単身者のために公営住宅等を利 年間の短期農業研修を行った後、町内で農業を実際に体験して、1 資金」の活用がある。などの資金として、「 方で農業を実際に体験して、 また、農村アカデミー ほ 施

ている。

労働負担の軽減や規模拡

実

ある。そんな中、

な要因になっている。

定雇用がままならない状態になっ

幕別地域は 幕別地 や技術指導を実施しているほか、普及センターなどによる経営指導でおり、所属する農協や農業改良修によって、指導育成に取り組ん や経験、さらには地域との信頼関準として農業経営者としての知識い、合格した場合に、3年間を標農業関係機関などによる審査を行 営を継続できるような環境づくりど、地域を挙げて安定的な農業経先となった農業者の支援、協力な周辺地域の農業者や研修受け入れ 修によって、指導育成に取り組.係を身につけてもらっている。

はあるが、従業員数は1366人向調査では、回収率が62・8%で町人・農地プラン」策定に係る意い2年の24年3月に実施した「幕別に努めている。 そのうち、 酪農にかかわる従

新規就

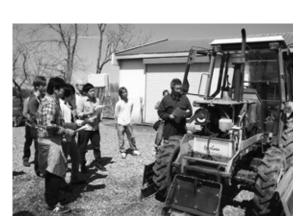
ス事業」

修生はおおよそ30人程度と聞 また、農協によると、 は、 1 2 5 人であ 外国人研 0 1

7

力の確保について

でなく圧迫にもつながるおそれがすることは民間市場との競合だけ単身者用の公的賃貸住宅の建設を 単身者用の公的賃貸住宅の建設を状況にあると聞く。こうした中で、 宅が数多く建設され、 つである同居親族要件が必要とな **(6)**特定の要件に該当する特別な場 とは困難であるものと考えている。 あることから、直ちに整備するこ き部屋も発生するなど供 することは困難である。 合を除き、入居者資格の要件の おいては民 【間賃貸 部 給 ては 過多の では



まくべつ農村アカデミーにおける研修の様子